

ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2006年（平成18年）5月15日号 No. 1362

目次

● ロシア外国新車市場の最新事情坂口 泉 1	
一日産の現地生産決定を受けて—	
● エトセトラ 9	
ロシア語版日本ガイド「ヤポーニヤ」第5版発行／9	
● ロシア新着企業情報 9	
● ロシア東欧貿易会関連の行事予定 10	
● CIS・中東欧諸国通貨の為替レート 10	

ロシア外国新車市場の最新事情 一日産の現地生産決定を受けて—

はじめに

先日、日産自動車（以下、日産）がロシアでの現地生産の意向を表明した。現地工場は、トヨタ自動車（以下、トヨタ）と同じサンクトペテルブルグ市（同市北西部のカメンカ）に建設される予定で（トヨタの工場は同市の南部のシュシャーリで建設中）、年間生産能力は5万台が見込まれている。詳しくは後掲のプレスリリースを参照されたい。

トヨタに続き日産も現地工場の建設を決定した結果、関連の部品メーカーをはじめとする多くの日本企業のロシア進出が加速される可能性が高くなったといえる。ロシア・ビジネスに従事する者にとっては、非常に大きな朗報である。本稿では、この日産自動車の現地工場建設の朗報を受け、同社の動きを中心にロシアの外国新車市場の最新事情をご報告する。

1. 2006年1～3月期の外国新車市場

概観 2006年第1四半期の外国新車（シボレーNIVAを除く）の販売台数は前年同期を約50%上回る約16万8,000台であった。例年、第1四半期は乗用車の売行きが低迷する傾向が強く、年間販売台数の約18%程度を占めるにすぎないが、この数字を基に計算すれば、2006年は約90万台の外国新車の販売が期待される（2005年の販売台数は約60万台）。